

アンゴラ共和国月報

2014年12月号
在アンゴラ日本国大使館

主な出来事

【内政】

- 4～6日, MPLA, 第5回臨時党大会を開催。
- 11日, 2015年国家予算が国会にて承認された。総額約7兆2518億1千万クワンザ。

【外交】

- 17日, アンゴラ訪問中のカガメ・ルワンダ大統領, ドス・サントス大統領と会談。

【経済】

- アンゴラ証券取引所(BODIVA)の開設
- 燃料価格の引上げ

内政

1 第5回MPLA臨時党大会

4～6日, 約二千人の党員と招待客参加のもと, 第5回MPLA臨時党大会が開催された。ドス・サントス大統領は, MPLAがアンゴラ国民の利益を守り, 国民の自由・発展・福利のために働くことを誓い, また, 直面する様々な課題に立ち向かうため, 党員に一層の団結を呼び掛けた(JA12/5,6,7)。

2 2015年国家予算の国会承認

11日, 国会にて2015年国家予算が承認された。同予算概要以下のとおり。

(1) 2015年国家予算 約7兆2518億1千万クワンザ(以下, 通貨単位省略)

(2) 歳入 約7兆2518億1千万

ア 税収・寄付金等による歳入 約4兆1848億7千万(GDP31%相当)

・税収: 約3兆9685億5千万

(内訳: 石油部門約2兆5512億2千万(歳入の35%相当), 非石油部門約1兆4173億4千万(歳入の19%相当))

・その他寄付金等: 約2163億5千万

イ 公債又は借入金による歳入 約3兆0650億7千万(調達先: 国内約1兆6541億, 国外約1兆4109億7千万)

(3) 歳出(公債償還及び借入金返済除く) 約5兆2158億(GDP38.7%相当)

(4) 社会保障及び教育関係に多くの予算が割かれている。2015年国家予算は原油価格81ドル/バレルを想定し, 策定された(JA12/12, E&M12月号)。

3 大統領の新年に向けた挨拶

29日, ドス・サントス大統領が新年に向けた演説をし, 以下のとおり述べた。

(1) 国家は良い方向に向かっている。経済は成長し, 国際社会における国家の威信は高まっている。市民は積極的に社会的責務を果しており, アンゴラ人の文化, 学術及び専門性のレベルは向上している。

(2) 総選挙・地方選挙

ア 次回の総選挙まで2年残すが, 関係機関は憲法に規定された期間に同選挙実施すべく, 即座に準備を始めなければならない。

イ また, 地方選挙の実現に向けた環境整備のための協議を国会が行うことを期待する。

ウ 成功裏に終えた国勢調査は, 議員や閣僚に対し, 同選挙実施のために有用な情報を提供した。

(3) 国勢調査では, 国家の発展を受け, 国民の給与水準が上昇し, 通常的生活を送るこ

とができる市民がいる一方で、生活に困窮する市民がいることも判明した。

それらの市民の生活環境改善の必要性に対して明確な答えを出すために、多くの雇用を創出する分野への公共・民間投資の拡大、零細農業(特に農村部の女性)や退役軍人への支援、職業訓練センターの増設等、様々な分野における公共政策が承認された。これら政策は貧困を削減し、社会格差を是正するのに役立つ。

(4) 2015年は原油価格の下落により経済計画において困難が生じるであろう。

燃料価格に対する補助金削減のように、いくつかの公共支出は削減され、延期される事業もあろう。財政の安定を維持するために、国家歳出の管理を強化し、儉約型の規律のとれた財政管理が行われることになる(JA 12/30)。

外交

1 クレモニーニ社・社長、ドス・サントス大統領を表敬

1日、イタリアの大手食品会社であるCremonini社のルイーダ・クレモニーニ(Luigi Cremonini)社長はドス・サントス大統領と会談し、同会談後、記者団に対して次のとおり述べた。なお、同社は1980年代からアンゴラで活動しており、その後ルアンダ市にイナルカ(Inalca)社を設立し、マランジェ市及びロビト市にも支店を持つ。

(1) アンゴラの経済開発及び産業多角化の観点から、農牧畜業及び食品加工業の事業拡大を進めていきたい。

(2) 当社は、アンゴラの実業及びアンゴラ国民の福利といった視座に立って投資を促進していく(JA12/4, JETRO Report 2013/3)。

2 葡・アンゴラ、国防分野での協力

(1) 3日、葡訪問中のロウレンソ国防大臣とAguiar-Branco葡国防大臣は国防分野におけ

る二国間協力の柱となる2017年までの新たな協力体制計画に調印した。

(2) 調印後、記者会見に応じたロウレンソ国防大臣は、アンゴラは葡が長年培ってきた海上保安のノウハウ、特に海上での国境コントロールについて関心がある旨述べた(JA 12/4)。

3 ルワンダ大統領、アンゴラを訪問

17日、アンゴラ訪問中のカガメ・ルワンダ大統領はドス・サントス大統領と会談し、二国間協力の強化及び大湖地域の和平に関して話し合った。また、2014年で安保理非常任理事国の任期が終了するルワンダと2015年から同理事国に就任するアンゴラの両国は、国連関係について知見を共有した(JA 12/18)。

4 シコティ外相、米國務長官と会談

17日、米訪問中のシコティ外相はケリー國務長官と会談し、両者は会談後、記者会見に応じ、以下のとおり述べた。

(1) ケリー國務長官

アフリカ大陸の安全保障に対するドス・サントス大統領の功績を称える。米国にとってアンゴラはアフリカにおける重要な貿易相手国である。これからは農業や科学技術、電力、インフラ分野での経済関係を深化させていきたい。

(2) シコティ外相

米国のキューバ政策の転換を賞賛する。同政策はキューバ国民のみならず、キューバを支援していた多くの国にも対話の道を開くであろう(JA12/19)。

5 仏・アンゴラ、二国間協定に調印

18日、ファビウス仏外相とパリ訪問中のシコティ外相は、経済分野における両国間の協力促進を目的とした「アンゴラ・仏による経済パートナー関係強化のための2015~2017年共同行動計画」及び「一般旅券の査証取得の簡素化」についての2つの協定に調印した

(JA12/20)。

6 ヴィセンテ副大統領、伯大統領就任式へ出席

30日、ヴィセンテ副大統領はドス・サントス大統領の代理としてルセフ伯大統領就任式へ出席するためにブラジルに到着した(AP 12/30)。

7 世銀、アンゴラへ10億ドルの融資を検討

2日、当地訪問中のBinkert世銀アンゴラ担当局長は記者会見に応じ、以下とおり返述べた。

(1)世銀はアンゴラ政府の各種事業及び2015年度の財政赤字の一部を補填するため、2015年上半期以降に1000億クワンザ(約10億米ドル)を融資する用意がある。

(2)国際的な原油価格の下落が、アンゴラ政府を自国の経済・社会プログラム遂行するための資金確保に奔走させている。

(3)同1000億クワンザの一部は農業及び水部門の大規模事業に充てられる。

8 アフリカ開発銀行による借款

18日、グラッサ企画・国土開発大臣は、セプティム・マーティン(Septime Martin)アフリカ開発銀行アンゴラ駐在代表との間で、非石油部門の民間事業に係る2,485万2,000ドルの借款契約に署名した(AP 12/18)。

9 BBVAによる借款

西BBVA(Banco BilbaoVizcaya Argentaria)は、公共投資プログラムに係る5億ドルの借款をアンゴラ政府に供与する見込み(AH 12/19)。

経済

1 主要経済指標

(1) 物価

国家統計院(INE)が12月に発表した11月期のインフレ率は7.49%(対前月比0.01%p)を記録し、7月期以降5ヶ月連続で上昇した。最も高い伸び率を記録したのは「財・サービス」

(1.47%)。続いて「家具・家庭用器具・維持管理費」(1.03%)、「衣服・履物」(0.83%)、「医療費」(0.81%)となった。

(2) 金利

12月22日に開催された第39回金融政策委員会(CPM)は、政策金利のBNA基礎利率(Taxa BNA)を年率9%に据え置くことを決定。銀行間取引利率LUIBORのオーバーナイト物は4.79%(前月比0.65%p)に引上げ。

(3) 為替市場

12月末、為替相場はUSD1=102.819AKZで取引された(対前月比2.256クワンザ安)。8月以降、ドル高の影響を受けてクワンザ安が進行している。

2 燃料価格の引上げ

26日、Sonangol Distribuidora社は燃料価格の引上げを実行した。前回9月に続いて3ヶ月ぶり。値上げ対象はガソリン及び軽油でともに20%増。それぞれ90KZ/L、60KZ/Lとなった。政府のねらいは国際石油価格の低迷に伴う財政悪化を補うことにある(JA 12/27)。

3 石油・鉱物資源関連情報

(1) 産油目標達成時期の前倒し

アンゴラ石油公社(ソナンゴル)は、GLOVプロジェクトにおけるFPSO操業開始式典で、同社が国内産油量200万BPDを2015~2016年に達成するという目標を設定した旨発表した。同社は10月、同目標達成時期を2017年に延期していた(JA 12/8)。

(2) 中国開発銀行、ソナンゴルに融資

ソナンゴル社の12日付け報道発表によると、同日、北京訪問中のレモス同社CEOは、Zheng Zhinjie 中国国家開発銀行総裁と20億ドルの融資契約に署名した。資金は石油ガス部門の事業拡大に利用される見込み。ソナンゴル社は、今般の融資を利用して、2015年にロビト精油所の建設に着手する見通し(AP 12/12)。

(3) ソナンゴル、韓国製タンカーを発注

ソナングル社の12日付け報道発表によれば、同社は大宇造船海洋に2隻の石油タンカーを発注した。納期は2017年、建設費は約1億4,000万ドルの見込み(AH 12/12)。

(4) 2014年ダイヤモンド売上げ

ケイロス地質鉱山大臣は、本年1～11月のダイヤモンド売上高が約12億ドルを計上し、年末には本年目標額の13億ドルへの到達が可能である旨公表した(AH 12/26)。

4 貿易・投資

(1) 民間投資案件の承認

2日、民間投資庁(ANIP)は、本年1～11月の間に投資事業に係る214件のプロポーザルを審議し、192案件を承認した旨発表した。総額約3,000億クワンザ(約30億1,200万ドル)を計上(JA 12/3)。

また、16日、ANIPは、10件の新規案件を承認した。総額約4,520万ドル。アブランテス ANIP 長官は、新規案件の中で製造業のプレゼンスが高いと記者団に対して述べた。その他の案件は、商業、観光業、サービス業、建設業等にわたる。金額ベースでは南ア企業(約980万ドル)及び中国企業(約905万ドル)による案件が際立っている(AH 12/17)。

(2) 証券取引所の開設

アンゴラ証券取引所(BODIVA)の報道発表によると、5日、同社は証券取引所を開設し、公債取引を開始した。ピッタ・グロス BODIVA 理事長は、今般の開設は、国内企業にとっての準備・適応段階となり、国内経済からの信用を取り付けることがねらいである旨述べた(JA 12/6)。

(3) 流通市場における公債取引の開始

20日、証券取引所において、流通市場(セカンダリーマーケット)での公債取引が開始した。これまで、公債は中銀(BNA)から直接取引されていた(JA 12/21)。

(4) ソブリンファンドによる公共投資

ソブリンファンド(FSDEA)は、インフラ基金

に11億ドルを、ホテル部門投資基金に5億ドルを投資した(JA 12/13)。

(5) Terra Pregrin 社、PT SGPS 社の株式公開買い付けを撤回

Terra Peregrin 社は、葡 PT SGPS 社に対して要求していた株式公開買い付け(TOB)を撤回した(EX 12/23)。

5 旧BESA問題

アルヴァロ・ソブリーニョ(Álvaro Sobrinho) 旧エスピリト・サント・アンゴラ銀行(BESA)元頭取は、同行が莫大な貸付金を抱えたのは自身の退任後であったと述べた。同氏によれば、同行の貸付金は同氏退任時から半年後の2014年6月までの間に約25億ドル増加し、約92億ドルに達していた。また、同氏は、旧BESAの出資者である葡旧エスピリト・サント銀行(BES)の経営破綻に関し、旧BESAの責任は皆無である旨述べた(EX 12/18)。

6 輸送・通信インフラ

(1) TAAG, EU への乗り入れ引き続き許可

欧州委員会は、4日に発表した EU 域内乗り入れ禁止航空会社ブラックリストによると、TAAG 社は EU への乗り入れが許可されている。同社が許可されたのは、ボーイング777機(5機)及び同737-700機(4機)の計9機のリスボン行きの便(JA 12/14)。

(2) Angosat, 2015年に完工見込み

23日、ロシア通信・情報技術大臣は、通信衛星 Angosat 計画につき、2015年第1四半期に完工する見込みである旨述べた(JA 12/24)。

7 製造業

(1) 2015年成長率予測11.2%

キアラ・ガブリエル工業副大臣は、工業博覧会2014(Expo Indústria 2014)で、2015年の製造部門の成長率予測は11.2%(対前年比2%p)となる旨述べた(EX 12/4)。

(2) 新規製鉄所の建設

マルティンス工業大臣は、鋼鉄の自給自足

へ向け、年間50万トンの鋼鉄を生産する製鉄
所がルアンダで2015年に操業開始する旨述
べた(AH 12/29)。

JA: Jornal de Angola, EX: Expansão, BB: Bloomberg, OP: O País, AP: Angop, SE: Semanário Económico,
AH: Angola Hub, AN: Angola Notícia, RNA: Rádio Nacional de Angola, Sol: Sol Angola, EF: Economia
& Finanças, E&M: ECONOMIA&MERCADO.